

# ネットオークションで散逸する史料への文化行政の対応

## ：信州の近世記録文書を対象として

寺澤 正直

### 【要 旨】

地域史料、民間所在史料の散逸は、個人の財産が失われるのみならず、地域の財産が失われることでもあり、文化行政の課題のひとつでもある。近年インターネットオークション（以下ネットオークション）の登場により、これまでの古書業者、故紙業者などとは異なる、新たな史料流通の市場が作られつつある。

本研究の目的は、ネットオークション内の史料流通が文化行政に与える影響を明らかにすることである。そのために、ネットオークション内の取引状況を調査し、その取引情報が文化行政に与える影響について確認した。

はじめに、国文学研究資料館の史料収集規模の最も多い地域を対象に、従来の悉皆調査と同様の手順で、ネットオークションの取引記録を収集し、現状の把握を試みた。その結果と、これまでの文化行政による史料収集報告から、史料の散逸に対する文化行政の対応について聞き取り調査を行った。

散逸史料の規模が比較的多い地域は長野県であり、同県の文化行政の中心である長野県立歴史館の史料収集状況を確認したところ、ネットオークションの史料流通量は軽視できない規模であった。調査結果を元に、文化行政が現状でどの程度の対策ができるのかを考察したところ、文化行政が史料流通対策を検討するためには、技術的な課題以上に、文化行政組織の運営上の課題が確認できた。今後は、対策を検討するための基礎情報として、広域かつ詳細な取引情報の収集が求められる。

### 【目 次】

- I. はじめに
- II. 従来の流通史料収集活動
  1. 戦後の国レベルでの史料収集活動—文部省史料館を事例に—
  2. 自治体史編纂期の自治体レベルでの史料収集活動—長野県立歴史館を事例に—
- III. ネットオークションに流通する史料
  1. ネットオークション流通史料把握の試み
  2. ネットオークション流通史料把握の結果と課題
- IV. 文化行政によるネットオークション流通史料への対応
  1. ネットオークション流通史料情報の蓄積による効果と影響
  2. 文化行政のネットオークション取引史料への対応
- V. おわりに

## I. はじめに

### 1. 研究背景・目的

本研究で扱う民間所在の地域史料とは、個人で所蔵する近世史料を想定している。このような史料は民間所在史料ともよばれ、文字通り公的な保存機関に寄託や寄贈されることなく、民間において保存、管理される史料のことを指す。民間所在の地域史料は地域の史料である前に、個人財産である。そのため文書館は民間所在の地域資料の保存や管理を所蔵者に徹底させることも、民間所在の地域史料の散逸を取り締まるための強制力を所蔵者に強いることもできない。

民間所在の地域史料の散逸は、個人（もしくは一組織）の財産が失われるだけでなく、地域の歴史を内在する地域の財産が失われることを意味する。そのため、史料の散逸防止は文書館、図書館などの文化行政の課題でもある<sup>1)</sup>。しかし公的保存機関で管理される史料とは異なり、民間所在の地域史料は所蔵者の意思や状態に保存や管理状況が影響を受けやすい。そのため民間所在の地域史料は個人間取引や古書店における売買取引、盗難などによって、史料の所在が変化することがある。そのような所在の変化が起きた場合、文化行政によるその史料の所在確認は大変困難である。このことは、文化行政が民間所在の地域史料の散逸に適切な対応が確立できていないことも要因の一つである。現在、文化行政が所在の変化した史料に対する対策の一つに史料の収集活動がある。史料の収集活動には史料の購入も含まれる。史料購入時に収集される古書店などの売り立て目録の収集もまた、史料の所在変化を知るための手段の一つである。

近年インターネットの普及、特にインターネットオークション（以下ネットオークション）の普及により、古書業者や故紙業者のみならず、個々人の間でも史料取引が行われ、今後取引頻度や取引範囲の拡大が予測される。ネットオークションの取引記録はインターネットを介さない個人間取引、古書店店頭での取引と異なり、出品者や落札者以外の第三者にも取引記録の閲覧が可能である。そこで取引記録を集計、分析することで、史料の取引状況が確認できるのではないかと考えた。

本研究の目的は、ネットオークションの史料流通に内在する問題を明らかにすることである。この問題を明らかにするにあたり、(1) 新たな史料流通の実態を把握する方法の検討、(2) 現在の文化行政の史料収集方針でネットオークションの史料流通に対応できるのかを検討の2点に注目した。

本研究の方法は次の手順で行った。はじめに既存の史料収集に関する文献調査を行った。既存の史料収集は収集時期によって役割が異なるので、戦後期の史料収集活動の事例として国文学研究資料館を、自治体史編纂全盛時期の史料収集活動の事例として長野県立歴史館を取り上げた。次に、従来の悉皆調査と同様の手順で、ネットオークションの史料取引状況の把握を試みた。以上の調査結果から、史料所蔵者、史料流通形態の変化について考察した。

なお本研究で用いた「取引史料」とは史料の出所地から切り離され、市場で流通する史料のことである。また「散逸史料」とは史料の出所地から切り離され、文化行政も旧所蔵者も把握できていない史料として用いている。具体的な「散逸史料」の状態には全くの消失、発生地か

1) 地方史研究協議会編。21世紀の文化行政：地域史料の保存と活用。名著出版。2001、p.331。

らの流失、移管などさまざまな状態が考えられる。

## 2. ネットオークション

ネットオークションは全体の購入経験者は32.2%、出品経験者は16.6%であり、年齢、性別によって若干のばらつきはあるものの、現代社会では多くの人々に認知され、閲覧や利用されていることがわかる<sup>2)</sup>。

こうした社会への浸透からか、ネットオークションを対象とする研究は少なくない。2000年前後の研究初期には（1）ネットオークションの機能や状況を紹介する報告と、（2）利用することでどうなるのかを検討した展望論文があり、近年ではオークションの状況把握をもとに、犯罪防止を目的とした（3）不正行為者の発見支援に関する研究、（4）新たな経済活動に関する法令の検討に関する研究、（5）落札者支援機能の検討に関する研究、（6）出品情報からの情報抽出に関する研究などの研究報告がある。（6）情報抽出に関する研究は、状況把握をするための（6.1）出品情報からの情報抽出<sup>3)</sup>、と（6.2）抽出情報の活用法<sup>4)</sup>に、大別できる。

（6.1）出品情報からの情報抽出では、現状を把握するための証拠源の作成や、検索精度を高めるための項目設定を目的としている。また（6.2）抽出情報の活用法としては、ユーザーの特性分析や落札者の意思決定支援などで、主にネットオークションにおけるマーケティングに使用することを目的としている。これまでのところ、古文書など、特定の出品物に対する取引情報の利用に関する先行研究は確認できない。

## II. 戦後の国レベルでの民間史料の保存活動—文部省史料館を事例に—

国レベルの史料収集活動を確認するため、文部省史料館（のち国立史料館、現国文学研究資料館）の設置運動とその史料収集活動の内容を確認する。戦後の混乱期に文部省を中心に庶民史料の調査活動が行われた。その後歴史研究者や史料保存に関する有識者の運動を背景に国会請願によって文部省史料館が設置された。この文部省史料館は日本国内における史料収集を行うことを目的として設立された施設である。

国文学研究資料館の収蔵史料群を確認することで、史料収集活動の内容の一部を確認するこ

---

2) 日本インターネット協会編。“資料2-4-18 オークションの利用経験”。インターネット白書。インプレス。2006、p.116。http://internet.watch.impress.co.jp/cda/special/2007/07/04/16244.html、(参照 2008-07-01)。

3) 西村純、宮崎林太郎、前田直人、森辰則、翁松齡、石川雄介、小林寛之、田中裕也、木戸冬子。ネットオークションにおける属性検索のための出品情報文書からの属性抽出。情報処理学会研究報告、自然言語処理研究会報告、情報処理学会、2007、no.76、p.157-162。土方嘉徳、楠村幸貴、西田正吾。ネットオークション上の商品紹介文のテキストマイニング。ファジィシステムシンポジウム講演論文集。日本知能情報ファジィ学会、no.19、2003、p.861-864。楠村幸貴、土方嘉徳、西田正吾。ネットオークションを対象としたテキストマイニングエージェント「NTM-Agent」の評価（テキストマイニングの応用（1））。情報処理学会研究報告。データベース・システム研究会報告、情報処理学会、2003、no.51、p.1-8。

4) 新井純一、高橋貞夫、大倉典子。インターネットオークションにおける意思決定支援システム（安全性）。電子情報通信学会技術研究報告。vol.107、no.45、2007、p.9-12。河内佑美、森本浩之、吉井伸一郎。ネットワーク構造解析による電子商取引システムユーザの特性分化（ネットワーク、「社会システムにおける知能」及び一般）。電子情報通信学会技術研究報告 AI。人工知能と知識処理、vol.105、no.509、2006、p.9-16。

とができる。国文学研究資料館がこれまで収集した収蔵史料は『史料館収蔵史料総覧』<sup>5)</sup>(1996年刊行)より確認できる。同書によれば、収蔵される史料群は414群、数量は約50万点である。それらがどのような入手方法で史料館に所蔵されたのかを調査し、図1にまとめた。調査結果より(a)古書店より購入、(b)故紙業者からの購入、(c)所蔵者より購入、(d)無償で入手(寄贈・譲渡・収集・委譲・未詳)、(e)寄託、の5種類の入手経路が確認できた。

しかし史料が史料館に収蔵される経緯は様々であり、例えば民間所在史料が、古書店などを介して譲渡される事例も確認できている。そのため入手経路数やその占める割合に絶対的な意味を持たないが、図1から史料館の史料収集活動の一端を確認できる。図1より購入によって収集した史料群数(古書店、故紙業者、前所蔵者より購入した史料)は全体の約65%、また史料点数の全体に占める割合は35%という結果が得られた。このことは寄託や寄贈で収集された史料に比べ、購入によって収集した史料群の1群あたりの史料数が少ないことを意味する。

次に『史料館収蔵史料総覧』<sup>2)</sup>より、収集史料が作成された都道府県別に、史料群数と史料点数を調査し、図2にまとめた。左の値と棒グラフが史料点数、右の値と折れ線グラフが史料群数である。

1964年の「日本史史料センター構想」とその構想に対する反対運動によって史料館の史料収集活動の転換期を迎えた。このことは年別の収集史料群数、収集史料数から見ても明らかである。この時期を境に、史料の現地保存の原則が確立され、文書館等の史料保存機関が各地に設置された<sup>6)</sup>。このことには、民間所在の地域史料はそれぞれの地域が責任をもって守るとい

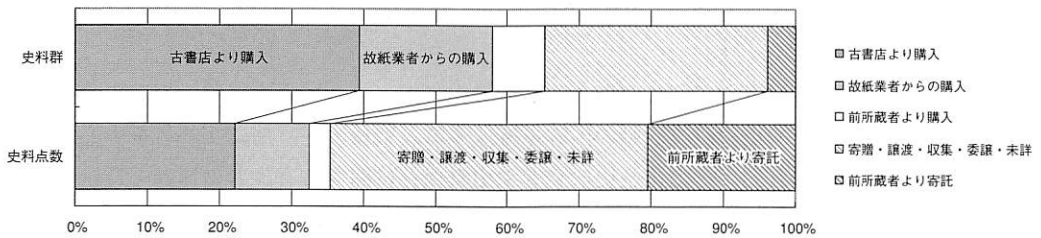


図1 収集史料の群と点数の割合比較

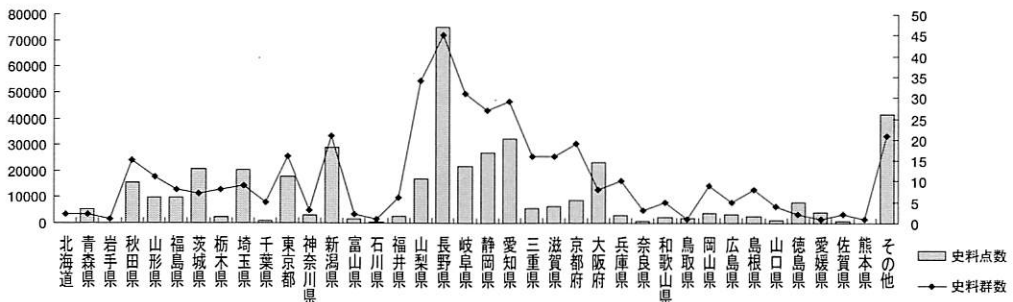


図2 都道府県別の史料点数と史料群数

5) 国文学研究資料館史料館編。史料館収蔵史料総覧。名著出版、1996、p.386。

6) 国文学研究資料館史料館編。「史料館の史料収集活動と収蔵史料」史料館収蔵史料総覧。名著出版、1996、p.3。

強い意志が示されたものといえる。転換期以後、史料館は特定の事情がない限り史料を受け入れない史料収集方針となる。具体的な収集動向については、『史料館収蔵史料総覧』に示されており、1970年代（転換期）以降、関連史料のマイクロフィルムでの収集などに限定している。

### Ⅲ. 長野県立歴史館の史料収集活動

史料館の史料収集活動の転換期以降の各地の自治体による史料収集活動について確認する。本章では、図2より史料館への史料群の受け入れ数が都道府県中最も多かった長野県の史料収集活動について確認した。

現在同県の史料収集活動の拠点は、平成6（1994）年11月3日に設立された長野県立歴史館である。同施設は長野県千曲市（開館当時は更埴市）に文書館と博物館機能を持つ複合文化施設として設置された。現在は役割の明確化が進み、長野県立図書館内で保存される史料は長野県立歴史館への移管が行われている。このことは同館の設立以前の県レベルの史料保存は長野県長野市に設置された長野県立図書館が行っていたことを意味する。つまり、それまで図書館が地域の史料保存に一定の役割を果たしていたといえる。この図書館は地域史料を守るために本来の機能を越え、一定の役割を代行してきたといえる。その長野県立図書館の史料保存や管理の活動が、決して小さいものではなかったことはまだ長野県立歴史館に移管されていない史料点数数百点をこえる史料群がいくつかあることから想像されるのである。

#### 1. 長野県立歴史館の史料収集

長野県立歴史館の史料収集活動の内容は、同施設より毎年発行される年間に掲載される収集史料一覧より確認できる。表1は年報<sup>7)</sup>に掲載された史料を寄贈、寄託、購入の3種類の史料収集方法に分けてまとめている。表1を元に同施設職員に対するインタビュー調査を行ったところ、寄贈、寄託は長野県立図書館や長野市博物館など、地域内の文化施設からの移管が多いことが確認できた。そして地域史料の所在の混乱した戦後期ではないにも係わらず、今もってまた購入史料が多いことがわかる。このことは相当数の史料が売買できる状態で存在していることも推測できる。

#### 2. 信州更級郡岡田村寺澤家文書の事例報告

次に、長野県立史料館の収蔵史料の中で、異なる経緯や時期に収集された同一の史料群である「信州更級郡岡田村寺澤家文書」の事例を取り上げる。信州更級郡岡田村（現長野市篠ノ井岡田）は、上田藩領飛地の村であり、寺澤家は岡田村の長百姓の家系である<sup>8)</sup>。また寺澤家文書は現在約3000からなる史料群であり、一般的な地方文書意外にも農書研究の研究テーマとし

7) 長野県立歴史館が発行する長野県立歴史館年報を、同施設設置から2007年までの年報（no1-10）までの収集史料を列挙した。

8) 館林弘毅。近世後期上田藩川中島飛地領における長百姓：文書作成過程を通して見た場合。長野県立歴史館研究紀要、no.7、2001、p.2-12。

長野県立歴史館。長野県立歴史館収蔵文書目録5。長野県立歴史館、2006、147p。

表1 長野県立歴史館の収集史料

年	寄贈	寄託	購入	
2006	尾崎家資料 1括 諏訪高島藩村々宗門改帳		伊那郡下寺村文書 佐久郡片倉村 北田井家文書 信州筑摩郡西宮村年貢掛札 平田先生著書未完目録 埴科郡横尾村文書 信州生茂村文書	信州塩尻村文書 松代藩土間山家 信州水内郡諸村大転回 筑摩郡金山領文書 伊那郡松尾家文書 岩村田藩本製高札
2005	松代藩伊藤家文書 筑摩郡会田宿問屋横内家文書 松代町本六工社関係文書		筑摩郡野川村若林家文書 更級郡赤田村新井家文書 筑摩郡松本町名主遠州屋文書 問所手形 更級郡大岡村文書	埴科郡矢代宿村柿崎源左衛門家文書 水内郡西大滝村鈴木家文書 更級郡井市村年貢割付状 筑摩郡平出村文書 筑摩郡大池村大池家文書
2004	矢代宿本陣問屋柿崎源左衛門家文書 会田宿本陣横内家文書			
2003	戦時下須坂町常会資料 大橋政勝収集文書 本井晴信収集文書	佐久郡芦田宿本陣土屋家文書 高井川田宿本陣西沢家文書	伊那郡山村北沢家文書 (2) 水内郡瀬戸川村文書 信濃国佐久郡村絵回 埴科郡片倉村小林家文書 伊那郡絵回・山村水寄絵回 筑摩郡南中村矢野家文書	諏訪家中宮本家文書 諏訪郡岡谷村文書 小県郡伊勢山村辰龍堂文書 長野関係文書 諏訪家中諏訪四書・諏訪社関係資料
2002		水内郡田立屋口留番所給本家文書 高井郡戸狩村佐藤家文書	伊那郡山村北沢家文書 埴科郡矢代宿本陣柿崎家文書 小県郡東上田村田中家文書 小県郡三分村年貢割符状	小県郡伊勢山村辰龍堂文書 更級郡下木陶村文書 高井郡須坂町横町高野家文書 佐久郡白田町井山家文書
2001	更級郡岡田村寺澤家文書 長野市南宮家文書 川崎市今井信雄文書 長野市高野イシ文書 上水内郡北沢家文書 戦時須坂町常会資料 諏訪清陵高校収集四書		筑摩郡北小野村文書 水内郡栗田村文書 水内郡北上野村文書 埴科郡横尾村文書 水内郡入山村文書	佐久郡余地・大日方・下海瀬村文書 中山道千曲川橋関係文書 筑摩郡岡・瀬山中・小立野・上生野村文書 水内郡栗田村文書 (2) 高井郡壺田村・樽川村機地帳
2000	佐久郡山田村江原家文書信州諸村文書綴 上水内郡大里英文家文書		筑摩郡地方文書 更級郡南牧村文書	高遠領分郷村絵回 更級郡岡田村寺澤家文書 (2)
1999	水内郡駒原村川浦家文書		信濃国松代藩関係文書 高遠藩入会絵回 伊那郡下殿島村文書 大町市清水家文書 松代藩御役人帳	筑摩県御布令留 小県郡東上田村田中家文書 伊那郡田原村文書 筑摩郡和田組荒井村一件控
1998	世間瀬文書 塚田大塚関係史料 市川家(本居)史料 酒井幸夫収集史料 矢崎孟伯収集史料 市川健夫収集史料		佐久郡前田原村名主文書 伊那郡小原村名主文書 (2) 伊那郡中坪村名主文書 信州上諏訪造酒家文書 更級郡岡田村寺澤家文書	
1997	児玉勝子資料 二、四事件資料 上田逸文庫 小林社人図書 花園光雄地図		伊那郡中殿島・田原村文書 安曇野池田町村市川家文書	
1996	長野市香取敏一家文書	浅科村依田高方家文書 (戦国)文書 長野市堀内弥平家文書 (塩崎知行者庄屋文書)	長野三井家文書 (諏訪郡商家文書) 高島藩関係屋敷回 (見数指回)	水内郡新町村文書 (宮門入別帳) 諏訪本宮政所文書 (諏訪社領文書)
1995	須坂市伊藤美子家文書 長野市山下藤三収集文書 (松代領地方文書) 長野市岡川喜八郎家文書 (水内郡関係文書)	千葉県新井製炭家文書 (松代領名主文書) 津南町南雲誠家文書 (市川谷地方文書) 須坂高等学校収集文書 (高井郡山田家文書)		
1994	長野市岡川千代九家文書 長野市米山一政家文書 諏訪市吉田能久家文書 上田市田中樹里子家文書	長野市青藤誠家文書 伊那市本郷正幸家文書 長野市左治本洋司家文書 佐久市依田謙一家文書 尾崎仁家文書 (盛信文庫) 柴村市川定家文書	諏訪郡吉田村文書 伊那郡温田村文書 諏訪郡赤沼村文書 更級郡池田家田藏文書 更級郡大岡村文書 高井郡野崎家田藏文書 高井郡志久見村文書 更級郡吉林家田藏文書 水内郡南牧村文書 水内郡竹生村文書	筑摩郡西洗馬村文書 筑摩郡北山新田村文書 筑摩郡西桑村文書 筑摩郡潮村文書 筑摩郡会田村文書 伊那郡小原村文書 埴科郡河原家文書 佐久郡下平村文書 更級郡能谷村文書 小県郡和田宿文書
1994	一般文書 修管 山田家文書 小野家文書 今井家文書	坂口家文書 徳武家文書 久保田家文書 細田家文書	高橋伝造収集文書 原家文書 田中照収集文書 堀内家文書	石坂家文書 郷土陳列室資料

て用いられる史料がある<sup>9)</sup>。表1より、同文書は2001年（寄贈）、2000年（購入）、1998年（購入）の3回に分けて長野県立歴史館に収集された。（）は収集方法である。2001年（寄贈）の収集は長野市立博物館からの移管である。2000年（購入）の収集は東京都内の古書店からの購入である。1998年（購入）の購入先は不明である。また2001年（寄贈）の史料も、その数年前に同文書が長野市内の古書市に出された報告を受け、長野市が差し押さえ購入した史料である。

上記以外に筆者の確認の範囲であるが、寺澤家文書の一部が2004年2月に2つの出品物に分けてYahoo!オークションに出品された事実がある。当時の出品タイトルは「(寅寿) 信州三水村（現長野市）諏訪社関係巻物10点 古書古文書」と「(寅寿) 信州三水村（現長野市）諏訪社関係巻物18点 古書古文書」であり、出品カテゴリはともに「ホビー、カルチャー / 美術品 / 書」であった。出品された史料は祝詞に関する巻物が中心であった。現在は寺澤家の関係者宅で保存される。出品者は定期的にYahoo!オークションへの出品しており、古書業者である可能性も高いが、従来の古書店などが店舗を構え値段を示して売買する形ではないため、出品者（販売者）についての情報を確認することができない。このように現所有者の匿名性が保証されたままで、歴史的文化的な価値の高い史料が売買される状況が広がりつつある。この事例は、現在の文書館など歴史史料を収蔵公開する文化行政機関は、こうした新しい取引にどのように対応しているのかという問題を提起させる。

#### IV. ネットオークションに流通する史料

ネットオークション内で流通する史料の実態を把握するため、はじめにこれまで確認されている史料流通を参考に、ネットオークション内で流通する史料の位置づけを確認する。図1の従来の史料収集経路である（1）購入、（2）譲渡、（3）寄託、の3つ史料収集方法が存在する。そして史料の購入には直接取引と間接取引に分かれることが、古書店の販売方法を確認することでわかる。間接取引にはインターネットを媒介としたオンラインショップを構えるEC（e-commerce）方式とネットオークションを利用した販売方法が含まれる。これらは旧来のカタログ販売（古書目録などによる通信販売）をインターネットに応用した販売形態とも言える。

以上を踏まえ、収集史料を流通形態によって体系化を行うと、ネットオークションを利用した取引の位置付けは図3のようになる。

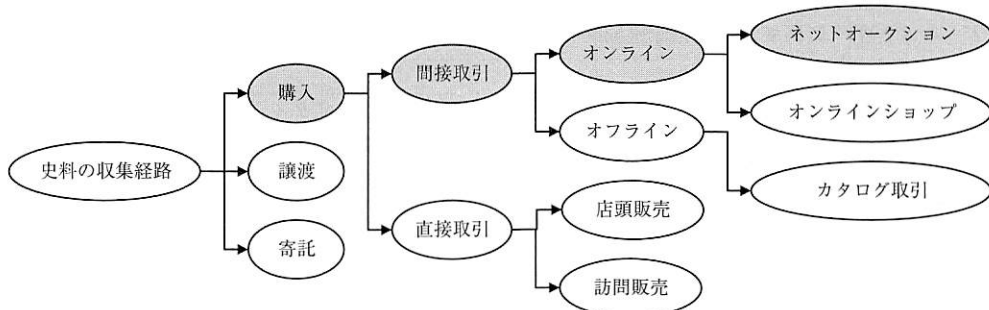


図3 購入による史料収集先の体系図

9) 佐藤常雄、徳永光俊、江藤彰彦編。日本農書全集第39巻。農山漁村文化協会、1997、370p。

### 1. ネットオークション流通史料把握の試み

本調査によってネットオークションの流通史料の状況の把握を試みる。調査対象となるデータベースはAucfan<sup>10)</sup>を利用した。Aucfanの選定理由は、日本国内に存在する主要なオークションサイト<sup>11)</sup>の横断検索が可能であるためである。またAucfanの取引情報の保持期間は、取引終了時から過去1年以内であり、出品タイトル、落札価格、入札数、落札日時の4項目を確認できる。上記4項目以外の詳細情報は、各サイトの商品ページにリンク付けしており、記載情報、掲載期間もサイトごとに異なる。

ネットオークション取引史料の把握の事前調査として、検索キーワード「古文書」で横断検索をしたところ、Yahoo!オークション以外のオークションサイトでは、調査期間において出品を確認できなかった。そこで、AucfanとYahooオークションの出品データの保持期間と表示項目を確認したところ、表2の結果が得られた。Aucfanで提供される項目では、調査において不十分ではあるが、長期に取引情報が保持されていることは注目すべき特徴である。一方Yahoo!オークションの取引情報の保持期間は、取引後120日間である。

予備調査より、収集した取引情報はYahoo!オークションのみであるので、Yahoo!オークション内の各出品が記載される詳細情報についてふれる。各出品物にはそれぞれ一定のフォーマットに基づいたレイアウトと項目で表記される。記載情報は取引上記入が必須とされる情報、と出品者が自由に記述できる項目、の2つに大別できる。出品者が自由に記述できる項目は、出品タイトル、画像の掲載、出品者による出品の解説、の3種類である。これらは出品者の知識量や取引戦略によって変化する。

データベースより抽出する取引情報は、地域での史料調査と同様の方法で抽出する。史料調査は、近世時代の土地名・村名、旧支配者名を事前に調査し、関連する寺社仏閣、土地の有力者の家に対して調査の手順で行う。本調査の対象地域は長野県とした。選定理由は、「Ⅲ. 長野県立歴史館の史料収集活動」と同様の理由からである。

本調査では旧地名として「信州」と各郡名、旧支配者として藩名、それらに「古文書」のキーワードをAND検索し、取引情報を収集する。得られた取引情報、(1)明らかに文書類でないもの(古道具、古民具、磁器など)、(2)古典籍およびその写本であるもの、(3)明治期の史料とわかるもの、は除外した。

表2 ネットオークションの情報保持期間と表示項目

期間	Yahooオークション	Aucfan
4ヶ月以内	出品者(出品リスト、所在)、落札者、画像、出品タイトル、詳細情報 他	
1年以内	閲覧不可	出品タイトル、落札価格、入札数、落札日時
2年以内		プレミアム会員のみ、上記の項目を確認できる。 <sup>12)</sup>
2年以降		

10) オークファン。http://aucfan.com/、(参照 2008-07-01)。

11) オークファンで横断検索できるオークションサイトは、Yahoo!オークション、楽天オークション、ビッダーズ、モバオクの4つである。(参照 2008-07-01)。

12) オークファンプレミアムはAucfan内の有料サービス。アーカイブズ・カレッジ2007修士論文提出時には存在していないサービス。2008年5月15日よりサービス開始。



## 2. ネットオークション流通史料把握の結果と課題

長野県内における近世時代の土地名として「郡」を、旧支配者として「藩」を選択した。「郡」とは7世紀の令制国発足により成立し、現在の長野県、当時の信濃国では佐久、伊那、高井、埴科、小県、水内、筑摩、更級、諏訪、安曇の十郡をもって成立していた。また現在の長野県地域下における藩は松本、上田、飯山、小諸、岩村田、龍岡、高島、高遠、飯田、須坂、松代である。各郡の位置は図4に、また各藩の位置については図5に示した。

取引情報の収集結果の詳細はAppendix 1、2、3に記載した。サイト別の各キーワードで収集した出品数は表3にまとめた。本研究の調査期間（2006年11月～2007年10月）ではYahoo!オークション以外のサイト内で「信州 and古文書」を検索ワードとしてヒットする出品物はなかった。表3の「信州」との重複は「藩}\*and古文書」、「郡}\*\*and古文書」の抽出件データと「信州 and古文書」の抽出データと重複している件数を集計したものである。また各郡の取引数の集計結果については表4に、各藩の取引数の集計結果については表5に示した。

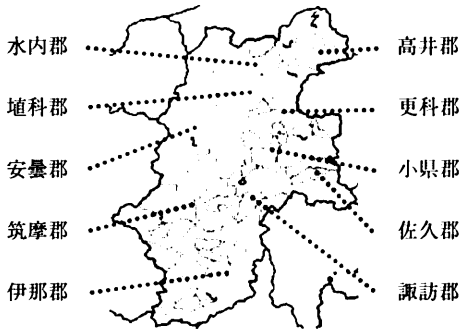


図4 長野県（信濃国）内の郡の位置

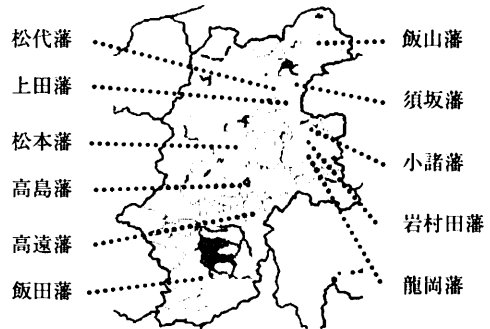


図5 長野県（信濃国）内の藩の位置

表3 オークションサイト別取引数の集計結果

キーワード	「信州 and古文書」との重複 (%)	Yahoo!	モバオク	楽天	BIDDERS
信州 and古文書		78	0	0	0
{郡}*and古文書	17 (85%)	20	0	0	0
{藩}**and古文書	13 (42%)	31	0	0	0

\* {郡} … {高井、水内、埴科、更科、安曇、小県、佐久、諏訪、千曲、伊那}

\*\* {藩} … {飯田、須坂、松代、松本、小諸、岩村田、龍岡、高島、高遠、飯田}

表4 各郡の取引数の集計結果

郡名	出品数	郡名	出現数
高井	1	小県	0
水内	3	佐久	3
埴科	1	諏訪	8
更科	0	筑摩	1
安曇	2	伊那	1
		合計	20

表5 藩郡の取引数の集計結果

藩名	出品数	郡名	出現数
飯山	0	龍岡	0
須坂	0	松本	5
松代	8	高島	0
上田	13	高遠	1
小諸	3	飯田	1
岩村田	0	合計	31

本調査によるネットオークション流通史料把握の試みの結果より、いくつかのことが確認できた。①国名だけではなく、群や藩名が史料調査をするための検索キーとして有効であること、②従来の悉皆調査の手段では導き出せない検索キーが存在すること、③流通史料はYahoo!オークションにのみ出現することの3点である。

①は検索キー「近世時代の土地名」、「旧支配者」の検索結果で重複しない取引情報が多数あることから有効と判断した。今後より多くの流通史料の情報を把握するためには、上記以外の検索キーの検討が必要とされる。本研究では行わなかったが、従来の悉皆調査の手順より考えられる候補としては「旧支配者の人物名」、「より狭い地域の旧地名」、「時代とともに変化した村名、町名」などが考えられる。今後、史料発見の精度を高めるためにも、市町村分合表のような時系列を考慮した町村名のシソーラスの作成や、寺社や庄屋に関する系図作成の成果が応用できると考える。

②の従来の悉皆調査の手段では導き出せない検索キーの存在とは、Appendix 1、2、3の出品タイトルを閲覧することで導き出した。例えば「蔵出し」「希少」といった古物商が用いる検索キーや、「和宮下向」といったNHK大河ドラマに関連するキーワード等が見られた。このような従来の悉皆調査の手段では導き出せない検索キーの予測を行うためにも、継続的なネットオークションの取引記録調査が求められる。

オークションシステムによっては、検索キーによる検索以外の調査方法がある。③のYahoo!オークションの場合、出品タイトルを対象とした検索キーによる検索以外に、出品者IDや出品カテゴリを対象とした検索も行うことができる。また取引履歴を集計することで落札者IDを特定することも可能である。本調査ではすべての調査に対して検索キー「古文書」を用いたが、流通史料情報の蓄積によって検索キーをもたない流通史料情報を発見できるのではないかと考える。

最後に、ネットオークション流通史料把握の試みを行う前提として、出品者と落札者のプライバシーの処理の問題について補足する。ネットオークションの取引情報はプライバシー情報が内在し個人情報保護の対象である。そのため文化行政が行う地域史料の所在調査であっても、史料の所有権は落札者にあることを忘れてはいけない。少なくとも公文書館法などを根拠とした所在調査の意義では、プライバシー情報を無視できるほどの効力はない。このことから取引情報の利用や公開については慎重に行うべきであることを付け加える。

## V. 文化行政によるネットオークション流通史料への対応

表1 長野県立歴史館の収集史料より長野県は年平均約7.3件(1994年から2006年の平均)の史料群購入している。2007年11月から2008年10月の一年間の長野県にゆかりのある可能性が高い古文書の出品数はAppendix 1～3より重複を除いて99件である。ネットオークションの1出品の史料点数は、直接購入に比べ比較的小規模であるものの、史料量と文化行政の役割の観点から考えるとネットオークション内の流通史料に対して、決して軽視できる状況ではない。

本章では文化行政がネットオークション流通史料に対してどのような対応ができるのかをインタビュー調査によって明らかにする。調査対象は対象地域となった長野県の主要な文化行政機関である長野県立歴史館の文献課担当の職員とした。調査項目は①流通史料情報を蓄積する

ことでどのような効果や影響があるのか、②既存の文化行政がネットオークションを媒介とした流通史料に対してどのような対応がなされているのか、とした。②には、もし対応がなされていない場合その理由にはどのような理由が考えられるのか、も調査項目に加えた。

### 1. ネットオークション流通史料情報の蓄積による効果と影響

一つのネットオークション流通史料情報には、史料内容、落札価格、出品時期、出品者、落札者などの情報を含んでいる。この出品者や落札者の情報には所在地域情報が付与されている場合もある。さらに流通史料の史料内容の解読まで確認できるものもあるので、図6のように（i）史料が作成された地域、（ii）前所有者の所在地、（iii）現在の所有者（落札者）の所在情報、といった史料の伝来情報を作成できる可能性がある。

さらに出品者、落札者、入札者など特定の人物を継続的に蓄積することによって、（a）入札履歴、入札者取引履歴から史料に興味のある人物（研究者やコレクター）の特定、（b）常時、及び大量の史料出品者を調査することで、業者か個人出品かどうかの特定、（c）収集した取引情報のデータベースから出品者IDと入札者IDを照合することで、転売者の特定、（d）出品時間や出品内容によって、史料郡の予測や、収集家の死亡や被災史料など、社会変化との因果関係を調査できる可能性が考えられる。また、全国的な取引記録を集計することで、例えば「長野県の史料はどの都道府県から多く出品されているか」など、日本国内の史料の移動状況を確認できる。特に文書館業務は地域単位で行われているため、他県の状況把握や協力を仰ぐ上でも有益な情報となる可能性がある。そのほか過去における取引情報を蓄積するところで、これまでの地域移動情報、業者・コレクターの出現状況を時系列で表記することや史料価格の相場判断を支援できる可能性がある。

次に、ネットオークション流通史料情報を文化行政が蓄積することの影響について検討する。文化行政がネットオークションにどれほどの史料が流通しているのか、その史料がいかにより重要な史料であるのか、その事実を地域の人々に伝えることが流失防止につながるのではと考える。そのことはネットオークション流通史料情報の蓄積を行う意義にもなりえる。そのほかに流通史料情報のデータベースを作成することで、文化行政が史料目録や自治体史編纂の過程で作成した史料の所在情報と照合することで、もし同一のものと思われる史料が発見できた場合、散逸史料の発見につながり、同一の史料が発見できなかった場合、新規史料の発見につながる可能性を判断することができる。もしこのようなシステムに一定の効果が認められれば、目録の作成意義のひとつにもなりえる。

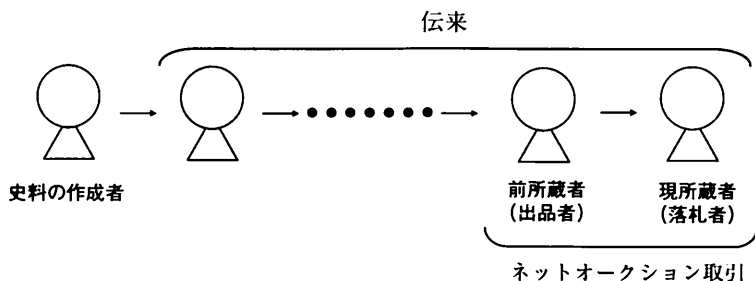


図6 取引記録を集計することで得られる情報

## 2. 文化行政のネットオークション流通史料への対応

長野県に関連するネットオークション流通史料把握の試みで収集した調査結果をもとに、① ネットオークション流通史料は長野県立歴史館の史料収集範囲に含まれるかどうか、② ネットオークション流通史料把握は必要かどうか、について、同施設の年報を含む文献調査と同施設現職職員へのインタビュー調査によって調査を行った。

現在、購入による史料収集対象は、古書店の売りたて目録（目録は他地域からのものが多い。これは県内で売りたて目録を発行している古書店は少ないためである。）、オンラインデータベース（ex、日本の古本屋）、神保町内で行われる業者市（具体的には非公開）の目録を参考に行われる。

長野県立歴史館の収集資料の方針より、ネットオークション内の取引史料について照らし合わせると、いくつか収集資料方針に合致しない点がある。取引史料は収集資料範囲の(a) 時代的範囲、(b) 地域範囲、においては該当する。資料収集の方法において、「資料の詳細な調査」と「個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分に留意すること」<sup>13)</sup>とあり十分な調査時間を確保できない取引史料は史料収集方針に合致しない。しかし、「資料散逸の危険性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。」との記載もあり、オークションはこの規定の中でどのように扱われるのかを、インタビュー調査で確認する。

はじめに長野県立歴史館がネットオークションを史料収集先として取り扱うことは、大変困難ではあるが、どのような傾向があるかの確認は継続して行っている。インタビュー調査より得られたネットオークションを史料収集先として取り扱いにくい要因を以下にまとめた。

- ・ 値段が確定しない。(オークションのシステム上確定は不可能である。)
- ・ 行政手続き上困難 (史料の収集には最低2回の会議で自治体より許可を得る必要がある)
- ・ 税金を使用するため、買戻しの根拠が必要だが、短期間では史料価値を示せない
- ・ 史料平等の原則に反する。(準備不備中の優先的な収集は平等の原則上不可能)

しかし長野県立歴史館のこれまでの史料収集活動の中にはネットオークションを対象とした史料収集ではないが、過去に史料価値の高さから、検討期間に制約があっても史料を購入した経験もある。「資料散逸の危険性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。」を実行するためにも、今まさに出品されている史料に対応できるシステムが求められる。長野県立歴史館紀要の収集に関する報告には「古文書の作成地が長野県内で、いったん所蔵者の手を離れて県外へ流出したものについては、古書店などから買い入れてきた。これは県立歴史館の「古文書収集要綱」にもとづいた策である。」との記載があり、出品中の出品情報を取得できるようになることで、文化行政による史料の購入対象のひとつとなる可能性を広げることにつながる。

史料の啓蒙活動、史料保存の啓蒙活動は全史料協、県史料協、を中心に行っている。具体的な民間所蔵者への啓蒙活動は広報によって呼びかけをおこなっている。文化行政の立場としては、文化行政に関する呼びかけは費用対効果がでにくいのが、地道に継続していくしかないとし

13) 樋口和雄。長野県立歴史館収蔵文書の保存と利用。長野県立歴史館研究紀要、8号、200203。

ている。

## Ⅵ. おわりに

本研究では、文化行政でこれまで行われてきた史料収集活動や散逸史料のあり方を確認した。その上で新しい流通方法であるネットオークションで流通される史料の実態を明確にし、文化行政のとるべき対応について検討した。その際、国文学研究史料館に収蔵された史料群を都道府県別に確認したところ最も多かった長野県を事例対象として、長野県の史料保存において中心となる長野県立歴史館のこれまでの史料収集活動や、従来の悉皆調査の手法を用いて、長野県を対象としたネットオークション流通史料把握を試みた。文化行政のとるべきネットオークション流通史料への対応は、ネットオークション上に大量に流通していることの実事や、地域史料を守る使命もった文化行政の立場からも注意すべき課題である。一方、文化行政の史料収集活動は税金で運営している責任から、時限的で詳細な調査が不可能なネットオークション流通史料に対して意欲的に収集していくことはできない。しかし、ネットオークションの実態を明確にするためにも、ネットオークション流通史料把握の試みが必要である。

今後、ネットオークション流通史料把握の試みに求められる課題は以下の通りである。

- ①より網羅的かつ精度の高い流通情報の抽出
- ②出品者や落札者のプライバシー情報や著作権への配慮
- ③ネットオークション流通史料把握の自動化

本研究では①の網羅的について「全都道府県」、「類縁機関別の収集方針」、「継続調査」の調査の可能性が残されている。本調査では長野県のみを対象として試験的な調査であるため、全都道府県を対処としたネットオークション流通史料把握の試みは今後の課題である。次に本調査では、県レベルで行われる悉皆調査の手法を用いている。今後は市町村規模の文化行政の動向や、文書館の類縁機関である図書館、博物館における史料収集活動に着目して、検索キーの多様性を検討する必要がある。最後に「継続調査」については「Ⅲ. 2. ネットオークション流通史料把握の結果と課題」でも触れたが、従来の悉皆調査では把握することのできない流通史料が存在している。このような流通史料に対応するためにも、継続的にネットオークション流通史料の把握を行い、今後の動向を分析する必要がある。これらを注意することは情報収集精度の向上に貢献すると考える。

②はネットオークション流通史料把握の試みを今後も続けていくために必要な配慮である。具体的な配慮の対象はデータソースの著作権、プライバシー処理をいった法的な課題のみならず、蓄積データの管理や悪用への対処など、セキュリティに関する課題も検討する必要がある。ネットオークションそのものや、データソースとなるAPI<sup>14)</sup>は民間企業の一サービスであるため、サービスの向上、もしくは停止の可能性も考えられる。これらの周辺情報についても

14) Application Program Interface:あるプラットフォーム（OSやミドルウェア）向けのソフトウェアを開発する際に使用できる命令や関数の集合のこと。（<http://e-words.jp/w/API.html>）。

サービスの变化に注意しながら、研究に望む姿勢が求められる。

③の自動化の目的は、文化行政職員の労力の軽減と、今後ネットオークション流通史料が収集対象となる可能性を広げることにある。ネットオークション流通史料を収集対象とするためには、落札可能な状態の流通史料を収集する必要がある。また文化行政は購入決定までに多くの時間が求められることから、出品状況の確認は早ければ早いほどよいと考える。情報収集の自動化を実現するため予測される技術としては (a) Yahoo API (Yahoo!ではオークションに関するAPIが5種類提供:2008年7月現在)、(b) RSS、(c) オークションアラートとメール通知機能、が現在確認できている。収集史料に関連するキーワードが確定していれば、上記の技術を利用することで、今まさに流通する史料を確認することは可能である。

今後の研究への示唆として、上記にあげたネットオークション流通史料把握の試みに求められる課題を克服しながら、流通情報の分析方法を検討する必要がある。その際、収集した流通史料情報の利用者となる文化行政職員の評価をうけることで、ネットオークション流通史料把握の精度を高めることができると考える。今後これまで指摘された課題を克服し、文化行政職員の負担を軽減することで、文化行政によるネットオークション流通史料への対応を検討するための基礎情報の確立につながるものと考えられる。

【補記】本論は、平成19年度アーカイブズ・カレッジ (長期コース) 修了論文「史料の電子商取引情報の収集とその利用の可能性:信州地域関連の近世古文書類を中心に」を改稿したものである。同稿の作成にあたっては、大友一雄先生 (国文学研究資料館) からご助言を頂きました。また文化行政については、お忙しい中聞き取り調査をお受けいただいた長野県立歴史館よりご助言を頂きました。ここに記して感謝いたします。

#### Appendix 1 「信州 古文書」で検索される過去一年間の取引データ

タイトル	落札価格	入札	落札日
文政13年・古文書・棟札 (信州小諸)	2,100円	2	10月23日
古文書3点 伊勢暦? 信州大町!!	2,100円	3	10月21日
古文書4通 信州大町 元禄ころ!!	2,300円	4	10月21日
o12◆古文書:信州-金刀比羅大神鎮座記録/田之頭部落	1,000円	1	10月19日
古文書一通 信州大町 文政ころです!!	3,490円	5	10月9日
古文書一通 信州大町 寛政ころです!!	3,400円	3	10月9日
古文書 古美術 信州 善光寺 仏画 木版刷り (31)	1,000円	1	10月7日
古文書1通 国境争論写 信州大町 文化ころです!!	3,150円	5	9月27日
古文書2通 寺送りなど 信州大町 天保ころです!!	1,950円	3	9月27日
◎宗門改帳ほか綴帳2冊 信州埴科郡竹山同心町古文書◎	13,500円	5	9月17日
●江戸後期 信州上田地区 古文書50部以上 ●	3,300円	1	9月17日
《杜》古文書、延宝8、327年前、信州安曇筑摩両郡開記	4,710円	3	9月9日
★★古文書☆信州南佐久郡岸野村☆無尽☆千曲川堤防工事★★	500円	1	8月25日
●信州 上田神畑村地区 古文書50部以上 ●	3,800円	1	8月23日
★古文書☆千曲川除御普請出来形帳4冊☆江戸期☆信州今岡村★	8,250円	4	8月18日
★和宮下向☆文久元年☆信州上水内郡小鍋村7点程☆古文書★	24,500円	4	7月22日
★★密通☆弘化2年☆信州金井村☆古文書・願書★★	3,700円	5	7月22日
信州小諸藩 蔵米切手 藩札古文書 初見品	6,750円	3	7月21日

ネットオークションで散逸する史料への文化行政の対応（寺澤）

★古文書・和本☆金毘羅大権現☆願かけ☆江戸期・信州★	5,360円	2	7月8日
江戸期古文書<門生八島>信州方面	1,000円	1	7月5日
★文久元年☆和宮下向☆信州鷺巣村☆伝馬入用等4冊・古文書★	12,490円	7	7月1日
江戸安政七年<信州上田狩狐他の古文書>	1,690円	4	6月24日
★★禁酒誓約の事☆嘉永6年☆信州西原村☆古文書★★	3,550円	4	6月24日
★★古文書一括☆信州水内郡山田中村☆検地帳等★★	4,100円	2	6月24日
(阿) 雄文館古地図 山形長野 羽前信州 古書古文書和本	1,000円	1	6月18日
★★古文書☆武具之類書上☆天保13年☆信州芝生田村★★	3,300円	2	6月16日
★★古文書☆信州小諸藩米切手2枚☆江戸期☆芝生田村★★	6,000円	4	6月16日
【葵】古文書・通行手形「諸国御間所・往來・信州⇄秩父順札」	8,250円	4	6月10日
☆・94古文書・綴り帳約96冊一括・信州伊那郡赤須村・☆	15,515円	3	6月10日
★★古文書・和本☆切支丹実記☆信州松代藩☆江戸期★★	15,500円	5	6月10日
江戸時代<楽関係の古文書一式>信州上田	2,300円	3	6月8日
● 江戸後期 信州上田地方 古文書約30部 ●	3,200円	1	6月6日
(阿) 戦前郷土資料一括 信州長野諏訪方面 古文書調査	16,000円	4	6月3日
(阿) 弘化道中記 信州諏訪高嶋藩～西国廻国旅古書古文書和本	59,500円	7	6月2日
(阿) 都々逸? 信州川柳俳句俳諧小唄端歌古書古文書和本	3,400円	2	6月2日
(阿) 西国納経帳 弘化 巡礼仏教行者修験信州古文書	19,000円	5	6月2日
(阿) 文久道中記 信州諏訪高嶋藩～伊勢講古書古文書和本	21,000円	5	6月2日
■大正9年信州善光寺如来御傳記1点■古文書資料	500円	2	5月21日
古文書 飯盛り女 亮春婦 女郎 宿場 信州 洗馬宿(4)	3,500円	1	5月14日
【葵】#1古文書・通行手形「碓氷関所・江戸⇄信州和田宿」◆	5,100円	17	4月28日
★★和宮下向☆文久元～2年☆8冊☆信州安曇郡・古文書★★	34,010円	34	2月25日
★刷仏☆江戸期☆信州善光寺☆ウハ紙付・朱刷仏7枚・古文書★	1,300円	15	2月24日
★★口留番所☆番役☆文化3年☆信州左古村・古文書★★	4,000円	15	2月11日
★★逗留請合一札☆嘉永2年☆信州松本御領大町☆古文書★★	1,900円	5	2月10日
★★山論裁許☆信州佐久郡☆上州堺☆貞享4年・古文書★★	3,200円	12	2月10日
★★信州望月宿☆家屋半焼☆嘉永2年☆古文書・和本★★	1,000円	2	2月4日
(阿) 21歳の古文書元禄貞享文政水帳検地年貢村方信州	10,700円	21	2月3日
(阿) 8古文書勝弦山山争裁許人会権村境元文享保信州	6,100円	15	1月29日
(阿) 10歳の古文書離縁中馬入別請取御用金信州諏訪	2,700円	9	1月29日
(阿) 9歳の古文書村方証文田地金子百姓信州奉行諏訪	2,700円	8	1月29日
(阿) 7歳の古文書勘当水引新倉山病身云々信州岡谷貞享	3,100円	8	1月29日
(阿) 14歳の古文書本綿日記覚帳反物販売元文天保信州	7,150円	4	1月29日
(阿) 12歳の古文書宗門改入別帳五人組戸籍信州寺元文	17,200円	21	1月29日
■■極稀!元禄7年(1694)～「江戸期古文書5点」信州和本■■	2,900円	1	1月28日
(阿) ⑤歳の古文書津島神社信仰宗教牛頭大王信州寛政	5,560円	5	1月25日
(阿) ②歳の古文書信州岡谷箕加金江戸屋敷類焼高嶋藩	2,600円	10	1月25日
(阿) ①歳の古文書惣馬御改帳信州岡谷本曾駒高嶋藩	1,800円	3	1月25日
★武芸☆神道流兵法氣之巻☆江戸期☆信州松代藩・古文書★	8,750円	12	1月21日
★★手控日記帳☆弘化5年☆信州南方村☆古文書★★	22,000円	31	1月14日
★越前守☆御用金千両返済願☆信州上田領☆江戸前期・古文書★	1,300円	2	1月13日
★★人身売買☆娘12歳☆奉公人☆慶応元年・信州・古文書★★	3,350円	12	1月13日
◎信州蔵出し江戸期古文書「姫様接待依頼文」寛政◎	3,200円	7	1月4日
◎信州蔵出し江戸期木箱入り古文書10通(寛文～延宝)◎	16,500円	36	1月4日
◎信州蔵出し古文書「嘉永地震について御役所宛」10通◎	16,500円	32	1月4日
《社》古文書、信州松本旧家、幕末～戦前・古文書一括、大量	21,500円	26	12月25日
安永七年<松本城古文書>信州長野	19,005円	37	12月24日
★古文書☆嘉永3年☆御咎につき居村払☆信州★★	1,000円	1	12月23日
★★古文書☆慶応4年☆官軍総督☆呼出状☆信州村々★★	1,900円	2	12月23日
古文書 信州 諏訪神社? 武士? 花押 戦時資料?(31)	2,200円	8	12月19日
◎信州蔵出し古文書「百五拾石ノ知行書」寛永10年◎	8,250円	11	12月10日
★古文書☆寛政7年☆殿様巡見資料2通☆信州松本・塩尻在★	4,200円	11	12月9日
★古文書☆文化2年☆夜遊び・狼藉に付詫び☆信州塩尻★	1,600円	5	12月3日
★古文書☆文化11年☆縁組による村入出入報告☆信州北内田村★	2,900円	8	12月3日
即売 古文書 奉公 江戸時代 信州 上田御領(4)	2,200円	2	11月27日
◎希少!信州蔵出し江戸期長文古文書安政◎	5,100円	22	11月26日
◎希少!信州蔵出し長文古文書稲荷山城主◎	9,000円	35	11月19日
【郡】古文書 海津城 信州大名 真田家家臣名簿 武田信玄	8,750円	22	11月6日
江戸期古文書<信州奉行所文書>10通分まとめて	5,350円	10	11月6日

Appendix 2 「郡」 AND 「古文書」で検索される過去一年間の取引データ

群 = 高井、水内、埴科、更科、安曇、小県、佐久、諏訪、千曲、伊那

郡	タイトル	落札価格	入札	落札日
水内	★★切支丹宗門人別帳他・古文書3点☆長野県水内郡長井村★★	21,000円	8	8月11日
	★和宮下向☆文久元年☆信州上水内郡小鍋村7点程☆古文書★	24,500円	4	7月22日
	★★古文書一括☆信州水内郡山田中村☆検地帳等★★	4,100円	2	6月24日
高井	下高井郡古文書10件・箱つき	1,250円	2	8月25日
埴科	◎宗門改帳ほか綴帳2冊 信州埴科郡竹山同心町 古文書◎	13,500円	5	9月17日
筑摩	《杜》古文書、延宝8、327年前、信州安曇筑摩両郡開記	4,710円	3	9月9日
安曇	《杜》古文書、延宝8、327年前、信州安曇筑摩両郡開記	4,710円	3	9月9日
佐久	★★和宮下向☆文久元～2年☆8冊☆信州安曇郡・古文書★★	34,010円	34	2月25日
	★★古文書☆信州南佐久郡岸野村☆無尽☆千曲川堤防工事★★	500円	1	8月25日
	和本 古文書 段ボール一箱一括 長野 更級 南牧村 佐久	11,000円	3	5月27日
諏訪	★★山論裁許☆信州佐久郡☆上州堺☆貞享4年・古文書★★	3,200円	12	2月10日
	■■諏訪大明神！江戸期【神社仏閣奉納経】古文書和本■■	25,500円	5	10月21日
	★★古文書☆信濃諏訪大明神社朱印堂☆江戸期★★	4,910円	3	7月21日
	(阿) 戦前郷土資料一括 信州長野諏訪方面 古文書調査	16,000円	4	6月3日
	(阿) 弘化道中記 信州諏訪高嶋藩～西国廻国旅古書古文書和本	59,500円	7	6月2日
	(阿) 文久道中記 信州諏訪高嶋藩～伊勢講古書古文書和本	21,000円	5	6月2日
	[郡] 古文書 中仙道 下諏訪宿助郷人足取調帳 街道 宿場	1,900円	5	2月20日
	(阿) 9歳の古文書 村方証文 田地 金子 百姓 信州 奉行 諏訪	2,700円	8	1月29日
	(阿) ④歳の古文書 産宮 神社 信仰 宗教 長野 諏訪 神道	2,200円	3	1月25日
	伊那	☆・94古文書・綴り帳約96冊一括・信州伊那郡赤須村・☆	15,515円	3

(更級、小県、は該当なし。)

Appendix 3 「藩」 AND 「古文書」で検索される過去一年間の取引データ

藩 = 飯田、須坂、松代、松代、小諸、岩村田、龍岡、松本、高島、高遠、飯田

藩	タイトル	落札価格	入札	落札日
松代	★★古文書☆松代藩土息女☆結婚日録☆長刀乗物・江戸期★★	3,300円	3	6月24日
	★★古文書・和本☆切支丹実記☆信州松代藩☆江戸期★★	15,500円	5	6月10日
	[郡] 古文書 山梨 護国隊長松本源八任命書 松代藩 板垣退助	3,800円	8	2月24日
	[郡] 古文書 山梨 護国隊 鎮撫府 盗賊博徒 松代藩士 官軍	2,090円	8	2月21日
	[郡] 古文書 朝進録 官軍護国隊 郷士 鎮撫府参謀 松代藩	18,000円	19	2月16日
	★武芸☆神道流兵法之巻☆江戸期☆信州松代藩・古文書★	8,750円	12	1月21日
	★★松代領分☆百姓召捕られ☆人別問合次第☆古文書★★	3,100円	13	1月6日
	(百捲) 信濃松代藩「公事方品々御用向書留控」幕末頃/死罪古文書	6,250円	4	11月12日
	● 江戸後期 信州上田地区 古文書50部以上 ●	3,300円	1	9月17日
	● 信州 上田神畑村地区 古文書50部以上 ●	3,800円	1	8月23日
江戸 安政七年<信州上田 狩狐他の古文書>	1,690円	4	6月24日	
江戸時代<薬関係の古文書一式>信州上田	2,300円	3	6月8日	
● 江戸後期 信州上田地方 古文書約30部 ●	3,200円	1	6月6日	
江戸期 古文書本<上田騒動秘録>一撰 打ちこわし	13,400円	6	3月3日	
江戸 古文書<上田軍記>信州 長野 真田	10,500円	16	3月1日	
★古文書【古地図/字中原宮下 上田中池ノ内】富山いわき市?5枚	1,000円	1	1月22日	
★越前守☆御用金下向返済願☆信州上田領☆江戸前期・古文書★	1,300円	2	1月13日	
★上田城主・松平忠順自筆書状☆天明頃☆家老宛・古文書★	10,000円	12	12月30日	
[郡] 古文書 日露戦争凱旋軍人歓迎会書状 軍隊 長野上田市	1,200円	3	12月29日	
★★古文書☆幕末☆上田藩大監察☆長州征討・上様姫路へ★★	6,100円	9	12月16日	
即売 古文書 泰公 江戸時代 信州 上田御領 (4)	2,200円	2	11月27日	
小諸	文政13年・古文書・棟札(信州小諸)	2,100円	2	10月23日
信州小諸藩 蔵米切手 藩札古文書 初見品	6,750円	3	7月21日	
★★古文書☆信州小諸藩米切手2枚☆江戸期☆芝生田村★★	6,000円	4	6月16日	
松本	★★逗留請合一札☆嘉永2年☆信州松本御領大町☆古文書★★	1,900円	5	2月10日
[郡] 古文書 長野松本市 村内銘々持高帳 年貢 租税 地租	2,200円	9	2月5日	
《杜》古文書、信州松本旧家、幕末～戦前・古文書一括、大量	21,500円	26	12月25日	
安永七年<松本城 古文書>信州 長野	19,005円	37	12月24日	
★古文書☆寛政7年☆殿様巡見資料2通☆信州松本・塩尻在★	4,200円	11	12月9日	
高遠	*【信濃高遠藩初代藩主 内藤清枚/合装/古文書/2通】掛軸 長野			
飯田	信濃飯田城下 境界絵図証文 彩色 古文書 和本	18,500円	8	6月3日

(飯田、須坂、岩村田、龍岡、高島、は該当なし。)